

crossing cafe

Vol.02

2023.9.1

発行:crossing cafe
毎月1日 341部発行



TOPIC

きむらとしろうじんじん のだて 八戸野点2023

きむらとしろうじんじんが、道具一式を積んだリヤカーで野点を開催。参加者が絵付けしたお茶碗をその場で焼き上げ、お茶を点てます。また、10月7日には、妄想した「魅力の予感」を外に持ち出す「妄想屋台」も同時開催。一風変わったさまざまな屋台が登場します。



きむらとしろうじんじん「八戸野点2022 in 美術館マエニワ」©Yuji Hachiya

素焼きのお茶碗と陶芸窯・お茶道具一式を積んだリヤカーで、街かどや山の中、海辺など、その土地のさまざまな場所に出現。参加者がその場で絵付けをしたお茶碗を楽焼(らくやき)という方法でその場で焼き上げ、自作のお茶碗で「その土地の・その日・そのときの風景の中で」お茶を楽しんでもらう……陶芸お抹茶屋台-移動式カフェ 旅回りのお茶会です。



●野点

日時:10月1日(日)昼頃から日暮まで
場所:旧三春屋前

●野点+妄想屋台

日時:10月7日(土)昼頃から日暮まで
場所:八戸市美術館広場マエニワ・オクニワ

申し込み不要
お茶碗絵付け2,500円
抹茶300円
※抹茶のみ可
主催/八戸市美術館
☎0178-45-8338



●(公財)むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて実施しています。



きむらとしろうじんじんプロフィール
1967年新潟生まれ。現在京都在住の陶芸家・美術家。1995年から全国各地で移動式陶芸お抹茶屋台「野点」を開催している。身長190cm。

〈スペースベン 9月の予定〉

FANS 予定第1563~1567回

毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。
一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増)

「かたり場」「だべり場」随時開催しています

〈Dance Lesson〉

- 毎週月曜日 19:00-20:00/あつし HIPHOP
- 毎週火曜日 20:15-21:45/KAZU HIPHOP DANCE SCHOOL
- 最終水曜日 19:30-20:30/SEGA HIPHOP
- 毎週土曜日 16:30-18:00/BRE FAM HOUSE DANCE HARUクラス

詳細は080(6025)0990にお電話でご確認ください

〈メンバーズカード〉

チャージ可能なプリペイドカードで、入場の際ご提示いただくと前売料金で入場いただけます。また、どの公演でも入場料から3%値引きいたします。チャージは現金でもクレジットカードでも可能です。

〈キャッシュレス決済〉

「paypay」「LINE pay」「メルペイ」の他、カード払いに対応しています。

〈theater information〉



2023年度パフォーマンスアーツ公演事業
waqu:iraz ダンスミュージカル公演
ジゼル、またはわたしたちについて
Giselle or about us
【日時】2023.09.09(土) 18:00-19:10
09.10(日) 14:00-15:10
【場所】八戸ポータルミュージアムはっち
2階シアター2
【前売り】一般2,500円/
中・高校生1,500円/小学生1,000円
【当日】500円増し
【問合せ】八戸ポータルミュージアム はっち
☎0178-22-8228

幻想的なバレエの「ジゼル」をモチーフに、
現代版として翻案したダンス・ミュージカル新作

【チケット予約】



八戸クリニック街かどミュージアム
開館10周年記念公演
わらび座「北斎マンガ」

【日時】2023.09.13(水) 18:30~
【場所】八戸市公会堂 大ホール
【料金】一般前売2,500円(当日3,000円)
高校生以下前売1,000円(当日1,500円)
【問合せ】八戸クリニック街かどミュージアム
☎0178-22-7728

日本一の絵師になりたいと夢中で絵を描く鉄蔵(後の葛飾北斎)。妻のおことが病に倒れた時北斎は…



劇団やませ令和5年本公演
「ひたむぎに生きて」
-永嶋暢子と婦人解放運動-

【日時】2023.09.22(金) 18:30
09.23(土) 13:00
【場所】八戸市公会堂 文化ホール
【料金】一般前売2,200円(当日2,500円)
中高校生前売800円(当日1,100円)
【問合せ】劇団やませ☎0178-44-8893
社会運動に係わってきた老女が、三戸郡出身の
夫人解放運動の先駆者、永嶋暢子を語る

〈Free Column〉

劇場の 片隅から

文/安達 良春

私にとってタウン誌と言えば「うみねこ」と「Amuse」だった。残念ながら両誌とも今は発刊されていない。急速なデジタル化、情報伝達の多様化・高速化、情報量の肥大、広告形態の変化…と要因を挙げてみれば仕方ない事だと思う。だが、割り切れない自分が居るのも事実。懐古趣味? デジタルへの適応力不足? 新しい発想が出せなくなった? 単なる意地…? この感覚はいったい何だろう。それでも1つだけ確かな事がある。紙媒体はデジタルとは違うチカラを持ち得ると私が信じている事だ。だからまだまだもう少しの間、紙に情報と思いを書いて送り出してみたいのだ。

特別寄稿

劇団「ビスマス」の旗揚げ公演を観て

文／田中 稔(大黒屋ぶろでゅーす代表)

最近の若い人(昔よく爺様が言ってた)はテレビ見ない、新聞読まない。ネットを開けば詳しいほどの情報が手に入る。旅行や恋愛、ショッピング等々自分なりの物語をVRという仮想現実によりあらゆる空間を創り出すことができる。そんな時代、金を払って一定時間椅子に拘束される演劇など観るのだろうか、ましてや演じてみようなんていう若者が…。

劇団「ビスマス」の旗揚げ公演、第一話「カプリースな罪人」の幕が上がった。

明かりの中に警官が現れ白狐を名乗る者の凶悪犯罪が多発しているという。照明が変わり、中央には段ボール箱と散らかった部屋らしき空間。強盗がガラスを割って部屋に侵入してくるが、強盗の割には実におとなしい。それを意に介さず住人の男は、強盗を招き入れ、淡々と2人の会話で進行する。途中警官が現れ3人となるがこれといった事件もおきない。そして睡眠薬により強盗と警官は意識を失うが、息はしていた。白狐(住人の男)は価値のない者たちは殺さないと意味深な台詞。

チラシのあらずじには狂気2割、訳の分からなさ8割のクレイジーコメディとの記載がある、確かに訳が分からない。ミステリーな事件や人物が醸し出す違和感による意味不明さ、カプリースな罪人である白狐のサイコ

パスの狂気、全てが希薄である。そして白狐の言う価値とは何だ。芝居の中に黙示となるものが見いだせないのは私だけだろうか。

10分間の休憩ののち第二話「×りぼっちの独白」のベルが鳴り、照明の中で老夫婦が人生を振り返り語りだす。しかし、妻は亡くなっており幻である。夫の独り言ごとか、それとも妻は夫を呼びに現世に戻ってきたのだろうか、チラシの公演予定時間を30分越えて旗揚げの幕が閉じた。人生の最期は難しい題材である。夫婦の会話から幸福という感情の共有を引き出したいのだろうが、人には各々の人生がある。私には共感の押しつけと感じてしまう。

小説でもそうだが作者の経験が物語となりそこから滲み出てこそ共感を得るものと思う。今回脚本にも役者にも経験不足は否めない。これらを補うためにも今後は既成の脚本や、他の公演への参加で経験を積むことも一つの手段ではないだろうか。

昨今の物価高騰のなか、安くはない公演場所を借り、観劇料金を取り自分達に負荷をかけた挑戦は評価できるが、料金を徴収している以上それに値する提供をと考える。

芝居は目の前で肉声が響き、身体が動き、熱が発せられ、何もない空間が観客により情景を創り出される。そのアナログの感覚が観る者の心を動かすのではないだろうか。冒頭で触れたが現代はデジタル時代、あえて時代遅れかもしれないアナログな演劇を選び旗揚げした彼女達の若さ溢れるエネルギーな今後の活躍を期待したい。



劇団ビスマス旗揚げ公演
「カプリースな罪人」「×りぼっちの独白」
2023.7.8(土)・9(日)
八戸ポータルミュージアム
はっち 2階シアター2



●筆者近況

10代で電卓、20代になりワープロ、30代でパソコン、40代でPHSが、50代でスマホに、60代でAI。速すぎる。俺は五つ玉算盤、黒電話に万年筆と広辞苑があれば良いと憂いながら、ノートパソコンでこの原稿を打っている。残念な男である。

FANSで上演・LIVEをやってみませんか？

ジャンルは問いませんので、まずはお気軽にご相談ください



Director

田中 勉

〒031-0081 八戸市柏崎1-11-8
mobile 080(6025)0990 Fax.050(3588)8350
e-mail owner@spaceben.com

<https://spaceben.com/>

crossingcafe

fanscross

crossingcafe

crossingcafe

@fanscafe



FANSってナンだ!?

小劇場「スペースベン」にて、毎週金曜日の夜7時30分から、約30分の芝居を楽しんでいただく企画です。芝居に限らずライブ・ダンス等、ジャンルの枠にとらわれず、金曜日の夜には“ここで何かおもしろい事をやっている”という場になればと思います。なお、料金は特別番組以外全て前売り500円、学生は200円です(当日100円増し)。上演の場を求めている方、刺激を求めているあなた、ご連絡お待ちしております。